

宮城大学・東北公益文科大学 × 伊達市 栗野地区

伊達ななかまたち

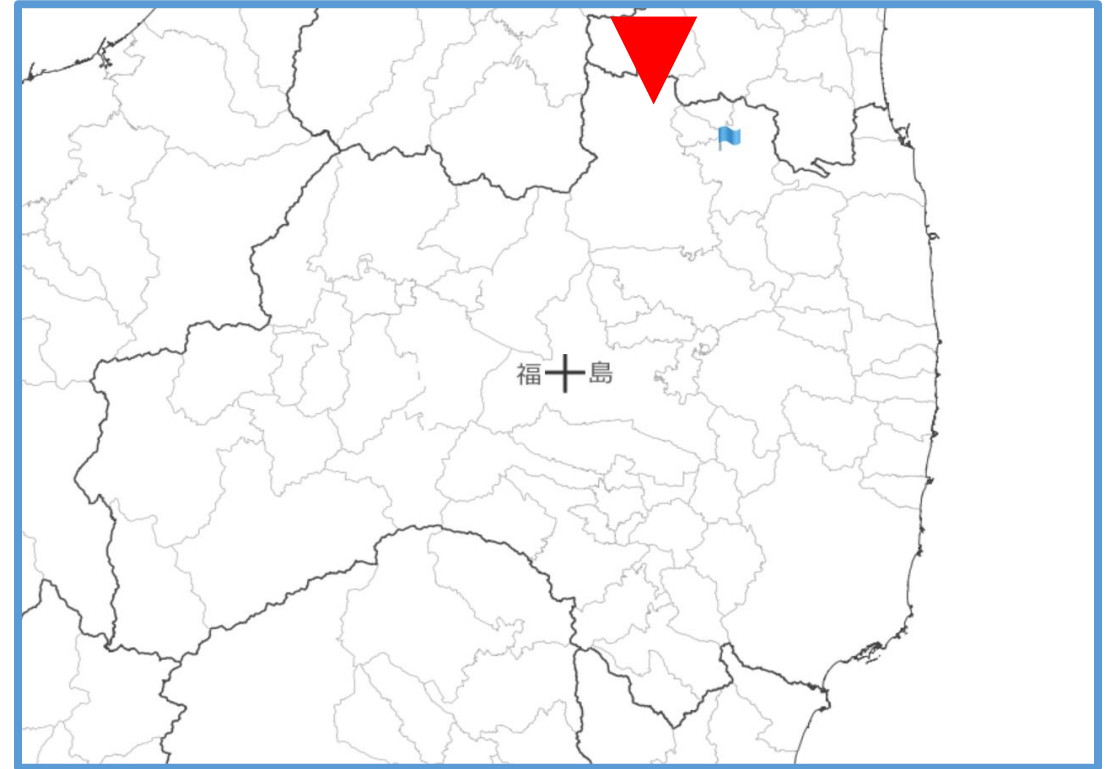


1. 栗野地区の概要

東に広瀬川、西に阿武隈川が流れ、
山一つなく平坦で、農地として優良な土地。

スポーツや芸術など多分野に造詣が深く、
自治組織独自で婚活事業などを行っている。

土地面積 : 5.52km²
人 口 : 1876人
世 帯 数 : 663世帯



2. 去年までの活動と取り組むべき課題

○去年までの活動

栗野地区まちづくりアンケート調査

調査対象：全663世帯

調査項目：住環境・まちづくりに対する質問

生活分野におけるさまざまな満足度と重要度

○取り組むべき課題

- ・ 若者の活躍の場づくり
- ・ 若者同士が関わりを持てる場づくり
- ・ 関係人口増加



3-1.今年度実施した取組みの内容

栗野次世代若者育成プロジェクト

地域の課題解決や若者交流,リーダー育成などの活動を通じて地域の魅力を再発見し,未来を明るくすることを目指す

募集要項

【対象者】高校生から30代の方

【募集期間】2024年7月20日～2024年8月31日

「じぶんのまち」の未来を変えてみませんか。



福島県伊達市梁川町栗野

進んでみよう、
一緒に。

福島県大学生事業

共に歩む未来へ—— 栗野次世代若者育成プロジェクト

素敵なアイデア 募集！

栗野町次世代若者育成プロジェクトとは

地域の課題解決や若者交流、リーダー育成などの活動を通じて地域の魅力を再発見し、未来を明るくすることを目指しています。若者がリーダーシップを発揮し、地域社会に貢献する機会を提供し、地域の成長と発展に寄与します。

募集期間 2024年7月20日(土)～8月31日(土)

募集対象 高校生から30代の方

活動期間 2024年9月～11月

3-2.今年度実施した取組みの内容

福島大学3年(食農学部) 松本さんのアイデア

ドローンを用いた動画制作
地域の風景を後世に残し、地域の魅力を再発見してもらいたい



活動に興味を持ってもらう「場」の創出で松本さんを支援したい



3-3.今年度実施した取組みの内容

ドローン体験講座の開催

iPadを使用した簡単なプログラミングでドローンを操縦する体験型講座
参加者は小学校低学年～大人

ドローンに興味関心を持ってもらう、
活動を知ってもらうことで松本さんが応援し
てもらえる気運を創出

プログラミングを
楽しく
学ぼう！

初心者向け 

ドローン体験講座

2024年 11月10日 ⑧

10:00～12:00

参加費
1人 300円
お茶・お菓子付き



プログラミング

プログラミングの基本を、ドローンを用いて学びます。論理的思考力が養われます。

ドローン操縦体験

プログラミングによって動くトイドローンを体験できます。思い通りに動かせるかな？

松本さんの取り組み

福島大学3年松本さんはドローンを用いて栗野の風景を映像に残す取り組みを行っています。

定員 24名程度（小学4年生以上が目安）
大人もちろんOK！

講師 石内鉄平 宮城大学准教授

会場 栗野交流館
梁川町二野袋昭和3-2



＼参加の方は下記コードからお申し込みください／

申込コード



お問い合わせはこちら

mail p2120026@myu.ac.jp 担当 稲葉
主催：伊達ななかたち（宮城大学）
共催：栗野地区自治会

実際の様子



講座には宮城大学**石内鉄平**准教授を特別講師としてお招きしました。
ドローンの操縦についてだけでなく、
ドローンに関する法律や活用方法などについてもご指導いただきました。

実際の様子



講座の最後には松本さんの活動紹介が行われました。
空撮映像を視聴し、ドローンで撮影された馴染みある町の映像を
地域の方々も興味深い様子でご覧になっていました。

4-1.まとめ

講座実施後アンケートより

- ・実際にドローンを動かすことで楽しさを実感し、今後もドローン関連のイベントに参加したいと思った
- ・新しい機械やツールを活用して地域社会に役立てて欲しいと思った
- ・ドローンがプログラミング通りに動くことに驚きと凄さを体験できた

松本さんの感想

- ・地域の方に活動を知ってもらえたことは大きな収穫
- ・アンケートの意見は、活動が地域にどう貢献できるのかを深く考えるきっかけとなった
- ・今回の講座を機に、今後の活動を地域活性化につなげていきたい

参加者・発案者に
新たな学びと発見



4-2.まとめ

良かった点

住民の意識把握
若者の活躍の場を創出

反省点

広報面の実力不足
アイディア募集中の停滞



5. 今後に向けて

○継続的な若者の関与と育成

- ・若者の継続的なまちづくりへの参画の促進
- ・若者同士のコミュニティ形成の支援
- ・他地域住民との交流の強化



持続可能で活力のある地域社会

